おやべルネサンス総合戦略

**～「再生」から「創生」へ～**



**平成27年10月**

**小矢部市**

目　　次

第１章　総合戦略の位置づけ 1

　１　総合戦略策定の趣旨 1

　２　計画期間 1

第２章　基本的な考え方 2

　１　目標人口 2

　２　総合戦略策定の基本方針 2

　３　総合戦略の視点 3

　４　総合戦略の基本目標 3

　５　施策の展開 4

第３章　推進体制等 5

　１　計画の推進 5

　２　ＰＤＣＡサイクルによる検証 5

第４章　今後の施策の方向（政策パッケージ） 6

　基本目標１　地場産業の振興と若者や女性に魅力のある雇用の創造 6

　基本目標２　交流・定住を促進する地域力の創造 12

基本目標３　若者の出会いの場を創出し、

安心して結婚・出産・子育て・教育がきるまちの創造 19

　基本目標４　住み続けたくなる安心・快適なまちの創造 24

第１章　総合戦略の位置づけ

１　総合戦略策定の趣旨

我が国は、世界に先駆けて「人口減少・超高齢化社会」を迎えており、国においては、平成26年12月27日に、我が国における人口の現状と将来展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、及び今後５カ年の施策の方向性を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市ではこれらを踏まえ、本市の人口の現状、今後目指すべき将来の方向性、そして、人口の長期的な将来展望を提示する「小矢部市人口ビジョン」を策定するとともに、県の「とやまの未来創生戦略」、第６次小矢部市総合計画等、各種関連計画との整合性を図りながら、少子化と人口減少を克服し、将来にわたって活力ある地域を維持していくことを目的に「おやべルネサンス総合戦略」を策定するものです。

２　総合戦略の期間

平成27年度から平成31年度までの５年間とします。

第２章　基本的な考え方

１　目標人口

平成72年（2060年）の目標人口を22,000人とします。

★合計特殊出生率　　1.60（2020年）→1.90（2030年）→2.07（2040年）

★人口移動率　　　　2015年から2020年にかけて、アウトレットモールの開業効果により、男女15～19歳が20～24歳に移行する時、同20～24歳が25～29歳に移行する時、同25～29歳が30～34歳に移行する時、30～34歳が35～39歳に移行する時の社会増計200人。2020年から2025年にかけては、アウトレットモール効果による前述同様の社会増200人に加え、企業誘致による効果により、男女10～15歳が15～19歳に移行する時、以降55～59歳が60～64歳に移行する時の各世代にわたる社会増300人の社会増合計500人。全体として、2015年から2025年にかけて社会増合計700人とし、それ以外の年代は2015年以降転入・転出による移動率をゼロと仮定。

２　総合戦略策定の基本方針

本市では、平成21年度に「小矢部市定住促進計画」を策定し、定住促進助成金制度をはじめとする定住人口増加に向けた施策を展開しており、近年の社会動態の改善にその効果が現れてきています。

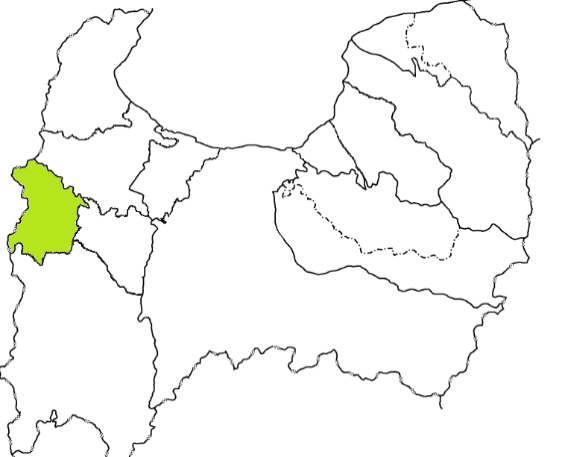
更に、平成27年７月に開業した「三井アウトレットパーク北陸小矢部」は、小矢部市に大きなインパクトを及ぼし、既存企業の事業拡大、新たな産業の創出と起業のチャンス、そして近隣市から通勤する若い女性の急増等の効果をもたらしています。

この機会を最大のチャンスととらえ、本市への定住を促進し人口増加につなげていくため、国や県の取り組みとの整合性を図りつつ、４つの基本目標を柱とした総合戦略を策定し、施策を展開していきます。

**<小矢部市の人口減少要因とチャンス>**

★中山間地域の新産業創造

★医療・介護・買物の生活拠点整備



転出

転出



県内大学の収容率が低く、大学進学時に転出

県境に位置する地理的ﾊﾝﾃﾞｨ

若い女性の人数そのものが少ない人口構造

男性の職場に偏った産業構造

適齢期での未婚男性が多い

買物客(300～350万人)と、就業者(2,000人)

●女性が働く職場の大幅拡充

●創業・企業のチャンス拡大

●観光や飲食、情報等、女性が活躍できる分野での雇用拡大の期待

★ＵＩＪターンの促進

★適齢期での結婚促進

★希望どおりの子どもを産み

育てられる環境づくり

★進出企業従業員の小矢部市民化

★既存産業の雇用能力拡充

★創業・起業による就業の多様化

★富山・金沢市への通勤の利便性アピール

★市外からの転入促進

★住環境整備等による暮らしの質の向上

：小矢部市の人口減少に関わる要因

：アウトレットモール開業によるチャンス

：チャンスを生かすために考えられること

３　総合戦略の視点

「再生」から「創生」へ。おやべルネサンスの新たなステージ。

◆「三井アウトレットパーク北陸小矢部」開業のインパクトを活用した賑わいと産業の創出

◆「北陸のハブ（拠点）」機能を活かした「県境のまちづくり」の推進

◆若者や女性が輝く環境づくり

◆安全・安心な暮らしの確保

４　総合戦略の基本目標

**基本目標１ 地場産業の振興と若者や女性に魅力ある雇用の創造**

・本市は、北陸自動車道や東海北陸自動車道、能越自動車道が交差する高速道路網の優位な地点に位置しています。「北陸のハブ」機能を活かした物流拠点等として、企業誘致を推進していくとともに、男性の職場とされる分野において、女性が活躍できる企業体質をつくる必要があります。

・三井アウトレットパーク北陸小矢部（以下、「三井アウトレットパーク」という。）の開業がもたらす来訪客は、本市の観光・運輸、宿泊・飲食に直接的に作用し、幅広い産業への波及効果が期待されます。三井アウトレットパークの物販・飲食店及び関連産業において積極的な若者や女性の雇用につなげていく必要があります。

・空き店舗や後継者の対策も含め、市街地の一層の活性化が求められます。商業者だけでなく、生産者や金融機関等と連携しながら商品開発や新たな産業を創出し、安定した雇用と地域の活性化を図る必要があります。

**基本目標２ 交流・定住を促進する地域力の創造**

・北陸新幹線（平成27年３月開業）によって首都圏と２時間台で結ばれるなど、観光面においては中京圏・関西圏のみならず、首都圏との交流が期待されます。金沢市や富山市といった都市や海・山等に短時間で行くことができる立地と、多くの大都市居住者が求める癒しの空間、農林業や畜産・養鶏等の地域資源を活かし、戦略的な情報発信により交流人口を定住人口につなげるための地域力を創造する必要があります。

・学生のＵターンを促進して定住につなげるためには、ニーズにマッチした多様な就職先が必要です。金融や商社、ＩＴ、クリエイティブ産業は概して大都市に立地することから、本市単独ではなく、通勤圏内である金沢市、富山市への就職を含めて、Ｕターンを促進し、通勤・通学の利便性に配慮しながら、本市に定住する対策を講じていく必要があります。

・親が子に本市で暮らすゆとりと豊かさを伝えるとともに、企業の就職説明会においても本市での暮らし情報を提供するなど、家庭・地域ぐるみで転出を抑制してことが重要です。

**基本目標３ 若者の出会いの場を創出し、安心して結婚・出産・子育て・教育ができるまちの創造**

・結婚適齢期を迎えた男性の未婚率は、30～34歳で49.8%と他市と比べても高く、重大な問題です。統計的には結婚対象となる適齢期の女性が少ないことがその要因の一つとして考えられます。このことから、男性については、本市以外での婚活が重要であり、結婚後、「小矢部に住もう」とパートナーと共感できる、子育てに関する手厚い支援が求められます。

・三井アウトレットパークへ市外から勤務する若い世代、特に女性を意識した、切れ目ない手厚い子育て支援等により定住へとつなげ、出生数の向上を図っていくことが考えられます。

・新婚生活には住居が必要になります。引き続き、新婚世帯への家賃助成とともに三世代での同居支援にも強力に取り組んでいく必要があります。

**基本目標４ 住み続けたくなる安心・快適なまちの創造**

・中山間地域においては高齢者単身世帯、高齢夫婦世帯が増加していると推測されます。これらの地域においては買物等の日常生活や、医療・介護・福祉サービスを支える仕組みづくりを創造し、生涯、安心して住みなれた地域で暮らせるよう、「暮らしの小さな拠点」を形成していく必要があります。

・高齢者が介護・医療を極力必要としないよう、50歳代からのウォーキング等の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸に取り組んでいくことが必要とされます。

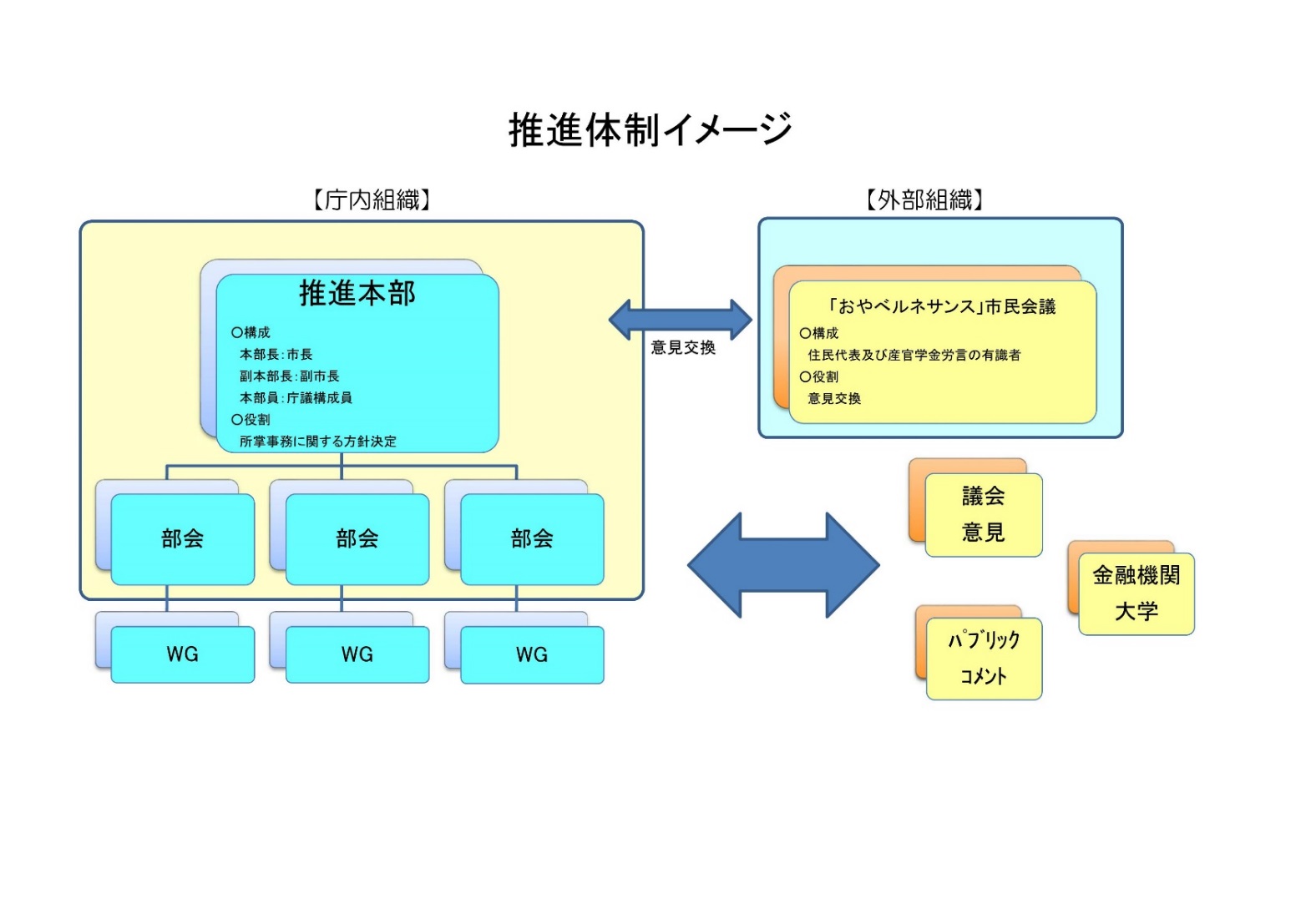
５　施策の展開

人口減少の克服と地方創生を確実に実現するため、国の総合戦略で掲げられている政策５原則である「自立性」「将来性」「地域性」「直接性」「結果重視」に基づき、施策を展開していきます。



第３章　推進体制等

１　計画の推進

市の広報誌やホームページ・メディアをはじめとした多様な媒体を通じて情報発信するとともに、市民や企業、団体、金融機関、行政等の連携・協働を図り、国や県、近隣市町村との連携を進めながら、住民に身近な施策として効果的・効率的に推進していきます。

２　ＰＤＣＡサイクルによる検証

「Plan（計画の策定）→Do（事業の進行）→Check（事業の実施状況の点検・評価）→Action（改善）」というＰＤＣＡサイクルの確立により、数値目標・重要業績評価指標（ＫＰＩ）を軸とした施策の点検・評価を定期的・段階的に行い、達成・進捗状況が思わしくない施策については、優先度に応じて重点的に取り組むなど、改善へと結びつけていきます。

なお、効果検証の客観性を担保するため、「おやべルネサンス市民会議」等をはじめとする市民や外部有識者による評価や「地域経済分析システム（ＲＥＳＡＳ）」の各種データも取り入れ、着実な事業の実施に努めていきます。

※重要業績評価指標（ＫＰＩ）：Key Performance Indicator の略称。

　施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

第４章　今後の施策の方向（政策パッケージ）

基本目標１　地場産業の振興と若者や女性に魅力のある雇用の創造

**１　基本的方向**

* 地域産業の競争力強化・発展を図るとともに、三井アウトレットパーク北陸小矢部の開業や本市の特性を活かした新たな魅力ある産業・事業所の創出を図り、市内における就労人口の増加に努めます。
* 農林業における担い手の確保及び育成を図りながら、生産性の向上を図るとともに、６次産業化等による高付加価値化を推進し、所得の向上を図ります。
* 女性の仕事へのチャレンジ精神の醸成を図り、起業・新分野開拓等を支援し、女性が活躍できるよう市内での就労機会の拡大に努めることで、女性の就職による市外への転出抑制を図ります。

**２　目標値**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 現状値（H26） | 目標値（H31） |
| 就業人口 | 16,301人  (H22国勢調査より) | 16,500人 |
| 事業所数 | 1,536件 | 1,750件 |

**３　具体的な施策・事業および重要業績評価指標（KPI）**

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (1)地域産業の競争力強化  ※主な事業について  ・H26.3月補正：平成26年度３月補正予算で対応した新規事業  ・H27当初：平成27年度当初予算で対応した新規事業  ・H27.6月補正：平成27年６月補正予算で対応した新規事業  ・H27.9月補正：平成27年９月補正予算で対応した新規事業  ・H28以降：平成28年度以降予算措置予定の新規事業  ・括弧書きのないもの：予算対応済みの既存事業 | ①事業拡大への支援  新製品や新技術の開発、新分野進出に対する支援を行うとともに、国内外の販路拡大に向けた支援を図り、市内産業をリードする事業の創出に努めます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 助成件数 | ２件／年 | 3件／年 |   ■主な事業  ・販路拡大支援事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (地域産業の競争力強化) | ②企業経営基盤の強化  市独自の金融施策の充実や専門家派遣を活用した個別支援事業を実施するとともに、金融機関との連携を図り、次代を担う若い経営者を支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 小矢部市中小商工業  振興融資実績 | 21,000千円／年 | 26,000千円／年 | | 小矢部市商工会会員数 | 954件 | 980件 |   ■主な事業  ・中小企業金融対策事業　　・経営改善普及事業  ・商工業振興対策事業　　　・専門家派遣活用事業（H28以降） |
|  | ③商業及び中心市街地の活性化  後継者不足や空き店舗対策、やる気のある既存商店主を支援し、市内商業の振興及びまちなかの賑わい創出を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 商店数 | 315店(H24) | 500店 | | プレミアム商品券販売率 | 100％／年 | 100％／年 |   ■主な事業  　　・プレミアム商品券発行事業  ・おやべ街なか等魅力向上事業（H26.3月補正、H27.9月補正）  　　商店街等振興事業　　　　光のまち創出事業  おやべ軽トラ市開催事業　おやコン開催事業 |
| (2)若者や女性に  魅力のある産業等の創出 | ①起業や新産業創出に対する支援  地域密着型企業の立ち上げ支援やビジネスマッチングの促進等を図り、商工会や市内民間金融機関と連携しながら個人の起業をはじめ中小企業の新ビジネス・第二創業等を支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値  （H26） | 目標値  （H31） | | 創業支援相談件数（延べ） | ― | 70件／年 |   　■主な事業  ・創業支援事業（創業支援事業計画の推進）（H27当初）  ・創業希望者と廃業予定者のマッチング支援事業（H28以降）  　（空き店舗情報バンク創設） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (若者や女性に魅力のある産業等の創出) | ②アウトレットモール開業に伴う雇用の創出  アウトレットモールの雇用を促進するため、アウトレットモールや隣接する企業主との連携のもと、通勤しやすく働きやすい職場環境の整備を支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 新卒就業者数 | ― | 120人（累計） | | アウトレットモール及び周辺開発事業所の小矢部市民就業率 | ― | 25％ |   ■主な事業  　　・雇用促進支援事業  ・アウトレットモール進出を契機とした定住環境整備事業（H28以降） |
|  | ③企業誘致の促進  本市は北陸地域の中心に位置し、小矢部砺波JCTを中心とした６つのICと北陸新幹線金沢駅から直通の石動駅を有する立地や、大都市圏と比べた本市で生活する豊かさをアピールし、積極的な企業誘致に努めます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値  （H26） | 目標値（H31） | | 小矢部ﾌﾛﾝﾃｨｱﾊﾟｰｸ  分譲率（面積等） | 77％ | 100％ | | 企業立地助成件数 | ２件（累計） | 5件（累計） |   ■主な事業  ・企業立地対策事業 |
|  | ④本社機能等の移転に対する支援  市内に支店や製造拠点を持つ企業の事業用地の確保や通勤・雇用等の支援体制を検討するとともに、本社、研修、研究機能の本市移転を目指します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 本社機能移転企業数 | ― | 1件（累計） |   ■主な事業  　　・本社機能市内移転促進事業（H28以降）  　　・本社機能移転による減税措置の適用（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (若者や女性に魅力のある産業等の創出)  ※イノベーション：まったく新しい製品やサービスを生み出すこと。技術革新。 | ⑤産学金との連携による新産業の創出  地域資源を活かした新しい産業の振興やイノベーション※の創出を図るため、富山県よろず相談拠点と連携し、事業展開を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 相談支援連携数 | ― | 5件／年 |   ■主な事業  　　・産学金連携支援（H28以降） |
|  | ⑥女性向けの創業等の支援  女性の仕事へのチャレンジ精神の醸成を図り、就農・起業・新分野開拓等を支援するとともに、女性による新しいサービス産業を通じた地域経済への寄与を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 女性創業支援相談件数（延べ） | ― | 35件／年 |   ■主な事業  ・創業支援事業【再掲】（H27当初） |
| (3)稼げる農業経営の確立 | ①農業・農村の振興  都市部においては、自然志向、就農志向の高まりにより、農山村へ関心が寄せられています。このことから、若者が農業に参入し、生計を成り立たせ、定住できるような仕組みを推進します。中山間地域等における農業活力の創生を図るとともに、鳥獣被害の防止への取り組みを支援するほか、新規担い手の確保・育成を推進するなど、市内における農業・農村の振興と定住の促進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 中山間活力創生に係る  補助金交付地区数 | ― | 4地区 | | 有害鳥獣(イノシシ)捕獲頭数 | 91頭／年 | 400頭／年 |   ■主な事業  ・中山間活力創生事業（H27当初）　　・有害鳥獣対策事業  ・とやま冬季林業チャレンジ支援事業（H27.9月補正）  ・地域特産品の開発・生産拡大事業（H28以降）  ・農業後継者育成事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| （稼げる農業経営の確立）  ※マーケティング：「製品」「流通」「価格」「販促・広告」を組み合わせ売るための仕組みづくり。 | ②６次産業化への支援  個々の生産者はもちろん、加工から販売に至るまで、マーケティング※を支援し、安定した収入につなげます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 新商品開発数 | ― | 8件（累計） |   ■主な事業  ・中山間活力創生事業【再掲】（H27当初）  ・地域特産品の開発・生産拡大事業【再掲】（H28以降） |
|  | ③ブランド化の推進  稲葉メルヘン牛やバラ等の地場産食材や地場産花卉について、消費者ニーズに対応した売れる商品化を図るとともに、既存の小矢部ブランド認定商品をブラッシュアップし、付加価値の向上を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 小矢部ブランド認定数 | 12件 | 20件 | | 稲葉メルヘン牛出荷頭数 | 69頭／年 | 80頭／年 |   ■主な事業  　　・小矢部ブランド認定事業  　　・牧野放牧管理事業 |
| (4)雇用環境の整備 | ①女性、若者、障がい者が働きやすい環境づくりへの支援  女性や若者、障がい者等が継続して働ける職場環境づくりに取り組む企業を支援するとともに、企業経営者の意識改革と共通認識の醸成を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 女性活用セミナー  参加企業数 | ― | 50件（累計） |   ■主な事業  ・障がい者、生活困窮者の就労促進事業（H28以降）  　　・女性活用セミナーの開催（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (雇用環境の整備)  ※ＩＣＴ：インターネット等の情報通信技術。Infortion and Communication Tech  　　 nology の略。  ※テレワーク：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。 | ②多様な労働形態の導入支援  個人の能力の発揮や「結婚・出産・育児・介護」と「仕事」の二者択一を迫る状況を改善するため、ICT※の活用によるテレワーク※の導入等、多様な就労形態を検討する企業を支援し、市内企業の有能・多様な人材の確保と市外流出を防ぐとともに、生産性の向上を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 認定事業者数 | ― | 2件 |   ■主な事業  ・ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定事業（H28以降） |
| ※サテライト・オフィス：企業または団体の本拠から離れた所に設置された[オフィス](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AA%E3%83%95%E3%82%A3%E3%82%B9)のこと。本拠を中心としてみた時に衛星（サテライト）のように存在するオフィスとの意から命名された。主に2つの意味がある。  ①勤務者が[遠隔勤務](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E9%81%A0%E9%9A%94%E5%8B%A4%E5%8B%99&action=edit&redlink=1)できるよう通信設備を整えたオフィス。  ②郊外に立地する企業や学校等の団体が、都心に設置した小規模のオフィス。 | ③サテライト・オフィス※の誘致  都市圏や北陸の中核市等のIT・コンテンツ企業のサテライト・オフィスの誘致を図り、特に、女性が希望する職場の確保と雇用拡大を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | サテライト・オフィス誘致数 | ― | 1件 |   ■主な事業  ・サテライト・オフィス誘致促進事業（H28以降） |
| ※インターンシップ：大学本科生では3年の夏・春の長期休暇中に行くことがほとんど。3年秋から本格化する就職活動に先駆けて就職体験を積み、就職活動本番でのミスマッチを防ぐ目的もある。 | ④求職者への支援  市内企業との連携のもと、体験就職テキストを作成し、学生のインターンシップ※やプロフェッショナル人材のお試し就業等、市内企業と求職者をつなぐ仕組みづくりを促進するとともに、市内在住の求職者と企業のニーズのマッチングに努めます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 障がい者や生活困窮者の就労促進事業による就労者数 | ― | 20人 |   ■主な事業  　　・障がい者、生活困窮者の就労促進事業【再掲】（H28以降）  　　・おやべ定住支援センター整備・運営事業 |

基本目標２　交流・定住を促進する地域力の創造

**１　基本的方向**

* アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立や、稲葉山・宮島峡の自然景観、倶利伽羅峠や今石動城址、祭り、寺院等の「和」の地域資源を活かしたインバウンド対策、市内への誘客を促す祭りやイベント、「義仲・巴」をはじめとするテーマ性を重視した広域観光の推進、そして人材の育成により交流人口の増加に努めます。

* 金沢市・富山市といった都市や海・山等に短時間で行くことができる “おやべ型ライフスタイル”の発信と金沢・津幡と隣接する“県境のまち”の利便性を活かし、市外からの通勤者等の『おやべ市民化』を推進し、人口流出を抑制するとともに移住の促進を図ります。

**２　目標値**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 現状値（H26） | 目標値（H31） |
| 観光入込客数 | 1,121千人／年 | 1,800千人／年 |
| 社会動態数 | ▲52人／年（H25） | 50人／年 |

**３　具体的な施策・事業および重要業績評価指標（KPI）**

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (1)観光の振興 | ①アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立  　　アウトレットモールと稲葉山、中心市街地でのイベント等、アウトレットモールと小矢部市の地域資源を繋げた魅力的な着地型観光ルートを確立するとともに、リピーターとなる小矢部ファンの創出を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値  （H26） | 目標値（H31） | | 稲葉山観光入込客数 | 69,490人／年 | 112,000人／年 | | 中心市街地通行者数 | 265人/日 | 350人/日 |   ■主な事業  ・稲葉山ブラッシュアップ事業（H28以降）  ・おやべ街なか等魅力向上事業【再掲】（H26.3月補正、H27.9月補正）  　　商店街等振興事業　　　　光のまち創出事業  おやべ軽トラ市開催事業　おやコン開催事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (観光の振興)  ※シティセールス：まちの魅力を市内外にアピールし、人や企業に関心を持ってもらうことで、誘致や定着を図り、将来にわたるまちの活力を得ることにつなげる活動。 | ②女性の視点に立ったシティセールス※  　　市内外の女性が訪れたくなるようなイメージ（地域のストーリー）を消費者目線で確立し、戦略的に情報発信するとともに、女性が気持ちよく観光し、お金を使える環境整備に努めます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 小矢部市の認知度  （首都圏女性） | 28.4％  (23.4%) | 60％  (60%) |   ■主な事業  　　・小矢部市シティセールス戦略策定事業（H28以降）  ・まちなかトイレ整備事業（H27当初） |
|  | ③市内への誘客を促す魅力の創出  アウトレットモールをはじめ、本市の玄関口となるインターチェンジや石動駅から市内への誘導・還流を促すイベントを仕掛けるとともに、市内交通事業者や飲食・宿泊施設、観光ガイド等、来訪者をもてなすことができる人材を育成します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 商店街観光客案内所  利用者数 | 7,146人／年 | 8,000人／年 | | 中心市街地通行者数【再掲】 | 265人/日 | 350人/日 |   ■主な事業  ・おやべ楽市・まちなかバル事業（H26.3月補正）  ・おやべ亭演芸開催事業  ・おやべ・まちなか芸術祭（H26.3月補正）  ・街中フォトコンテスト事業  ・道の駅メルヘンおやべ誘客促進事業（H26.3月補正）  ・おやべ街なか等魅力向上事業【再掲】（H26.3月補正、H27.9月補正）  　　商店街等振興事業　　　　光のまち創出事業  おやべ軽トラ市開催事業　おやコン開催事業  ・義仲・巴広域連携推進事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (観光の振興)  ※ＳＮＳ：Social Networking Serviceの略。登録された利用者同士が交流できるWeb サイトで、友人・知人間のコミュニケーションの手段や場を提供したり、新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービス。 | ④国内外に向けた魅力発信  本市の歴史・文化等の地域資源の魅力を五感で感じる仕組みをメディアやSNS※等を活用して発信するとともに、誘導看板、パンフレットやDVD、ホームページの多言語化を推進します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 外国人観光客宿泊数 | 150人／年 | 600人／年 | | おやべグルメ大使イベント出店回数 | 4回／年 | 8回／年 |   ■主な事業  ・市ホームページ整備事業  ・観光用紹介DVD作成事業（H27.9月補正）  ・おやべグルメ大使認定事業  ・観光インバウンド対策事業（H26.3月補正）  　　広域観光案内所運営事業　　　Wi-Fi整備事業  多言語パンフレット発行事業　「和」体験事業  　　海外プロモーション事業 |
| (2)都市間交流の推進 | ①滞在型生活体験の推進  　　市内宿泊施設や寺院や民家と連携を図りながら、小矢部市民との触れ合いを通じた農作業等体験ツアー、イベント・祭りへの参加を計画し、受入体制の整備を図るとともに、本市の暮らしの良さ、田舎暮らしの楽しさを市外の人に伝えます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | グリーンツーリズム  体験者数 | ― | 50人／年 |   ■主な事業  ・とやまの田舎暮らし体験事業（H28以降） |
|  | ②二地域居住の推進  移住希望者の視点に立った環境整備を行い、移住希望者向けの情報提供に取り組みます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | ニ地域居住者数 | ― | 30人(累計) |   ■主な事業  ・おやべプチ市民生活体験事業（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (3)移住・定住への支援  ※U・I・Jターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称。Ｕターンは出身地に戻ること、Ｉターンは出身地以外の地方へ移住すること、Ｊターンは出身地近くの地方都市に移住することを示す。 | ①U・I・Jターン※相談支援体制の強化  　　U・I・Jターン希望者に対する総合窓口を開設し、各種支援制度や住宅、雇用、生活等、U・I・Jターン希望者が求める情報の提供に努め、ふるさと回帰や移住を支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 相談窓口利用者数(延べ) | 21件／年 | 100件／年 |   ■主な事業  ・おやべ定住支援センター整備・運営事業【再掲】  ・ふるさと回帰ＰＲ事業（フェア出展）  ・移住・定住者奨学金助成事業（H28以降） |
| ※「地（知）の拠点大学による  地方創生推進事業（COC+）」  ：文部科学省が平成27年度から実施する、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として実施する事業。 | ②教育機関と連携した若者定着化の推進  　　市内の高等学校や県内等の高等教育機関との連携のもと、地域が求める人材の育成や若者の地元定着を推進するとともに、特に過疎化が進む中山間地の若者の定着について、地域の課題解決による若者の定住を支援します。また、金融機関とも連携し、若者のＵターンや地元定着を支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 連携課題件数 | ― | 10件（累計） |   ■主な事業  ・青少年国際交流事業（H27.9月補正）  ・高等教育機関との地域包括連携事業（H27当初）  ・「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」※参画（H27当初）  ・「（仮称）おやべ大学」の開設（H28以降） |
|  | ③定住促進助成制度の継続  　　市内で住宅を取得して居住している方、市内民間賃貸住宅に住む転入世帯や新婚世帯、三世代以上で同居している方に対する助成金の交付を継続し、定住人口の増加を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 社会動態数 | ▲52人／年(H25) | 50人／年 |   ■主な事業  ・定住促進対策事業  定住促進賃貸住宅家賃助成事業  三世代同居推進助成事業　定住促進（住宅取得）助成事業  ・移住・定住者奨学金助成事業【再掲】（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (移住・定住への支援) | ④空き家バンクの登録推進  　　空き家の再利用の促進やその支援のため、空き家バンクの登録を推進し、本市への居住希望者に対して市内住宅情報を提供します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 空き家バンク物件成約数 | ２件（累計） | 30件（累計） |   ■主な事業  ・空き家バンク利活用促進事業 |
| ※地域おこし協力隊：人口減少や高齢化等の進行が著しい中山間地域等において、県外の都市地域等から人材を誘致し、地域住民との共同活動支援や高齢世帯の生活支援等の地域協力活動を実施すること。地域力の維持・活性化を図ること目的としている。 | ⑤地域と連携した受入体制の整備  市内の保育所や企業、就労支援センター等と連携し、定住に関する情報発信や問い合わせなどに対するサービス提供の一元化を図るとともに、新居の購入やリフォーム等、市内金融機関による協力を進めます。また、地域おこし協力隊※の受入を推進し、中山間地域等の活性化を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 定住支援件数 | 27件／年 | 30件／年 |   ■主な事業  ・おやべ定住支援センター整備・運営事業【再掲】  ・地域おこし協力隊受入事業 |
|  | ⑥「生涯活躍のまち」の形成支援  高齢者が健康なうちに移住し、地域の仕事や生涯学習への参加を通じて、健康で生きがいのある生活を送るための「生涯活躍のまち」の形成に向けた取り組みを支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 「生涯活躍のまち」形成数 | ― | 1（累計） |   ■主な事業  　・「生涯活躍のまち」形成支援事業（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (4)おやべ型  ライフスタイルの促進 | ①市内企業勤務者の「おやべ市民化」を推進  市外から市内企業に勤務する社員の本市への転入支援を図ります。特にアウトレットモールへは市外からの通勤者も多く、これらの通勤者が本市に定住するためのワンストップ相談窓口を設置し、勤務者・企業・行政のWin-Winの関係を構築します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 市外から通勤する  従業員の新規市内居住者数 | ― | 60人（累計） |   ■主な事業  　・ (仮称)小矢部市就労者市内居住奨励金制度（H28以降） |
| ※サテライトキャンパス：大学や大学院の本部から地理的に離れた場所に設置されたキャンパスのこと。 | ②「(仮称)おやべ大学」の開設  富山県や石川県内の大学等の高等教育機関と連携し、本市に「サテライトキャンパス※=（仮称）おやべ大学」を開設し、学生の「おやべ」での学生生活を充実するともに、市民向けの公開講座も開講します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 「（仮称）おやべ大学」受講者数 | ― | 200人（累計） |   ■主な事業  ・「（仮称）おやべ大学」の開設【再掲】（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (おやべ型ライフスタイルの促進) | ③遠距離通学者への支援  石動駅を利用する金沢市以西及び富山市以東への通学者の定期券購入支援等を検討し、本市に住みながら遠距離通学ができるよう支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 通学支援数 | ― | 30件／年 |   ■主な事業  ・遠距離通学者支援事業（H28以降） |

「おやべ市民化」の推進について

■イメージ

・空き家・空き地情報

(宅地建物取引協会)

・住宅ローン・改修ローン

(金融機関)

ワンストップ相談窓口の設置

①定住希望者の募集

②空き家・空き地の情報提供

③保育、支援情報の提供

市外通勤者ニーズの提供

住宅の要望、保育・就学要望相談

地域・住宅形態・保育・学校の希望

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 雇用する企業 | 通勤者 | 小矢部市 |
| 通勤手当の削減、労災リスクの削減、柔軟な勤務時間 | 持ち家の取得、通勤時間の短縮、事故リスクの削減  生活の安定・ゆとり | 人口増加、空き家の解消、地域の担い手増大 |

■三者のメリット

基本目標３　若者の出会いの場を創出し、

安心して結婚・出産・子育て・教育ができるまちの創造

**１　基本的方向**

* 若者の出会い・交流を推進するとともに、「結婚」、「妊娠」、「出産」、「子育て」までの一貫した支援の強化、近居も含むおやべ型三世代同居モデルの推進により、若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえます。
* 確かな学力と豊かな人間力を育む「日本一の教育環境」の整備を図り、未来を拓く人づくりを推進します。
* ワーク・ライフ・バランスの推進等により、若者・女性の能力や感性を最大限に活かした経済活動を促進します。

**２　目標値**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 現状値（H26） | 目標値（H31） |
| 出生数 | 171人／年 | 220人／年 |
| 25～29歳男性の未婚率 | 74.6％（H22） | 引き下げる |
| 30～34歳男性の未婚率 | 49.8％（H22） | 引き下げる |

**３　具体的な施策・事業および重要業績評価指標（KPI）**

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (1)結婚支援 | ①婚活支援  　　「おやべの縁結びさん」による独身男女の引き合わせや、市内企業等、各種団体と連携した出会いの場の創出、民間団体が実施する婚活イベントに対する支援を行うなど、若い世代の結婚の促進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 「縁結びさん」による  成婚数 | ４件(累計) | 20件（累計） | | 出会いイベント参加者数 | 86人／年 | 200人／年 |   ■主な事業  ・結婚活動支援事業  広域的な結婚活動支援事業（H28以降） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (結婚支援) | ②結婚支援に対する情報提供の推進  独身者の結婚に向けた講座等を開催するにあたり、若年層にも結婚に関心をもってもらえるよう結婚支援に対する情報提供を推進します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 結婚に向けた講座参加者数 | ３人／年（H25） | 40人／年 |   ■主な事業  ・結婚に向けた講座の開催 |
| (2)妊娠・出産・子育てまでの  一貫した支援  ※不育：妊娠しても、流産や死産、新生児死亡等を繰り返して子どもが持てないこと。 | ①不妊症・不育症治療への支援  不妊や不育※治療に対する支援を行うとともに、若い世代から不妊の原因となる疾病の予防法や妊娠・出産適齢期等、性に関する正しい知識の普及啓発を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 不妊治療費助成件数 | 56件／年 | 60件／年 | | 不育症治療費助成件数 | ２件／年 | 4件／年 |   ■主な事業  ・不妊治療費助成事業  ・不育症治療費助成事業 |
| ※ハイリスク妊婦：次に示す条件を1つでも満たす場合の妊娠の可能性のある妊婦。  ①母親または胎児が病気になったり死亡したりする可能性が通常時よりも高い。  ②分娩の前後に合併症が発生する可能性が通常時よりも高い。 | ②出産に対する支援  妊婦健康診査の受診推奨や早期の妊娠の届出の励行、本人や家族に対する妊娠期の健康教育の充実、妊産婦医療費に対する助成、ハイリスク妊婦※の早期把握等、安心して出産できる環境づくりを目指します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | ママ・パパ講座受講者数 | 113人／年 | 120人／年 |   ■主な事業  ・誕生お祝い事業  ・おやべママ・パパ講座  ・妊産婦健康診査・交通費助成事業  ・産婦人科医院等開設補助金 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (妊娠・出産・子育てまでの一貫した支援)  ※保育コンシェルジュ：保護者からの相談に応じて保育所（園）や幼稚園の紹介、様々な子育て支援サービスについて情報提供を行い、関係機関との連絡調整を行う。  ※子育てコーディネーター：保護者の近くの保育所（園）等で子育て相談を受け、必要なサービスを利用できるよう、適切な子育て支援期間につなぐお手伝いを行う。 | ③子育て支援サービスの充実  　　子どもをもつ親が安心して子育てできるよう、時間外保育や休日保育等、多様なニーズに対応できる保育サービスの充実を図ります。また、病児・病後児保育や放課後児童クラブ等、各種子育て支援サービスの充実や相談支援体制の整備を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 放課後児童クラブ  利用児童数 | 192人／年(H25) | 270人／年 | | 育児サロン利用者数  （延べ） | 9,506人／年 | 15,000人／年 |   ■主な事業  ・子ども家庭支援センター運営事業  　　・保育コンシェルジュ※及び子育てコーディネーター※の配置（H27当初）  ・子育て情報発信事業（H27.9月補正）  ・放課後児童健全育成事業 |
|  | ④子育てに関する経済的支援の充実  子ども医療費助成制度の継続的な実施等、子育てに関する経済的負担の軽減を図ります。また、ひとり親家庭に対する医療費の助成や児童扶養手当等の経済的支援を行います。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | ひとり親家庭のうち  生活保護世帯数 | ― | 0件 |   ■主な事業  　　・ひとり親家庭等福祉事業  　　・小矢部市子育て世帯支援事業（こども及び妊産婦医療費助成） |
|  | ⑤多子世帯に対する支援の充実  第３子以降の児童について、所得に関係なく保育料を無料とするなど、子どもを持つ親が希望どおりの子ども数を持てるよう支援を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 第3子以降対象者数 | 22人／年 | 30人／年 |   ■主な事業  　　・保育料第３子無料化事業  　　・誕生お祝い事業（第３子以降）【再掲】 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (3)おやべっ子を育む  教育環境の充実  ※スタディメイト：小学校に在籍するＬＤ（学習障害）等の発達障害を含め、障害のある児童に対して学校生活上の介助や学習活動の支援を行う支援員のこと。 | ①きめ細やかな学校教育の推進  児童及び生徒の確かな学力を育み、生きる力を育む教育を実現するため、スタディメイト※や多人数支援講師の設置を推進するなど、きめ細やかな学校教育の推進を図ります。また、芸術やスポーツ等を通して総合教育の推進を図り、故郷の魅力を学びます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 不登校児童生徒適応指導教室利用率 | 26.3％ | 50％ | | 学校図書館貸出数  （１人当たり） | 40.6冊／年 | 59.3冊／年 |   ■主な事業  　　・英語教育推進事業　　　・多人数学級支援講師配置事業  ・図書館司書設置事業　　　　・心身障害児就学指導事業  　　・「子どもと親の相談員」活用調査研究事業  　　・不登校児童生徒等適応指導事業  ・特色ある学校づくり推進事業  　　・社会に学ぶ14歳の挑戦事業　・スタディメイト派遣事業 |
|  | ②心のふれあいを深める社会教育の推進  家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、安全で健やかな教育環境が必要であることから、お互いの心の交流を深め、家庭・学校・地域が一体となり、社会教育の推進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 地域おやべっ子教室推進事業参加児童数(延べ) | 6,119人／年 | 7,500人／年 |   ■主な事業  ・ふるさと歴史館管理事業　・地域おやべっ子教室推進事業  　　・通学・宿泊合宿事業　　　・子ども読書活動推進事業  ・生涯学習推進講座（子ども対象講座） |
|  | ③ICTを活用した効果的な学習の展開  情報活用力の育成を図るとともに、協働型・双方向型の授業を推進するなど、ICTを活用した効果的な学習の展開を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | PC配置数/児童生徒数 | 16.4％ | 18.5％ |   ■主な事業  　　・情報教育環境整備事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (4)若者・女性の  経済的活動の促進  ※ワーク・ライフ・バランス  ：個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加等、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすること。 | ①ワーク・ライフ・バランス※の普及促進  　　男性の育児休業取得の推進等、仕事と家庭や子育てとの両立を図りやすい職場づくりを進め、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた普及促進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | セミナー参加企業数 | ― | 50件(累計) |   ■主な事業  　　・ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催（H28以降） |
|  | ②男女共同参画の推進  　　小矢部市男女共同参画推進員の支援を行うとともに、企業や職能団体等における意思決定の場への女性の参画や企画・渉外部門等への積極的な女性登用について働きかけるなど、男女共同参画の推進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 審議会等における  女性委員の割合 | 26.9％ | 50% |   ■主な事業  　・男女共同参画推進事業 |
|  | ③おやべ型三世代同居モデルの推進  子どもを産み育てやすい環境づくりや高齢者の孤立防止に寄与するとともに、定住人口の増加を図るため、既存住宅のリフォーム工事に対する支援を行うなど、本市における三世代同居・近居を推進します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 孫とおでかけ支援事業  市内対象施設利用者数 | ― | 6,240人／年 | | 三世代同居率 | 28.1％  (H22国勢調査より) | 引き上げる |   ■主な事業  　・孫とおでかけ支援事業（H27.9月補正）  ・三世代同居推進助成事業【再掲】 |

基本目標４　住み続けたくなる安心・快適なまちの創造

**１　基本的方向**

* 地域生活の再生やネットワークづくりにより、市民が安心して暮らしていける生活環境の整備を図ります。
* 地域医療体制の整備等、地域包括ケアシステムの構築により、健康長寿の推進を図ります。
* 多極ネットワーク型連携中枢都市圏の形成を促進し、他自治体との連携による生活関連機能の向上を図ります。

**２　目標値**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 現状値（H26） | 目標値（H31） |
| 65歳到達者の平均余命※に占める  平均自立期間※ | 男性　90.77％  女性　85.87％  （健康おやべプラン21より） | 引き上げる |
| 「住み続けたい」と考える人の割合 | 81.8％（H25） | 引き上げる |

※平均余命：X歳に達した人がX歳以降に生存すると期待される平均年数。0歳の平均余命は平均寿命である。

※平均自立期間：65歳の人が今後元気で活動的に暮らすことができる期間。

**３　具体的な施策・事業および重要業績評価指標（KPI）**

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (1)安全・安心なまちづくり  ※備蓄率：将来的に予測される、需要と供給のバランスが崩れる事態や発生すると予想される供給の停止等に備えて蓄えている必要な物資の保存率。 | ①防災体制の整備  食料・資機材等の備蓄の整備や、各企業との災害協定の締結を進めるなど、防災体制の整備を図ることにより、災害に強いまちづくりを進めます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 備蓄率※ | 84.7％ | 100％ |   ■主な事業  　　・備蓄整備事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (安全・安心なまちづくり) | ②自主防災組織・消防団の充実  自主防災組織や防災リーダーの養成を図るとともに、防災訓練等に対する支援を行うなど、地域防災力の強化に努めるとともに、私設消防隊等に対する支援を行うなど、災害や火災等に対して不安の少ないまちづくりを目指します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 防災士の養成数 | ５3人 | 73人 |   ■主な事業  　　・防災士養成事業  　　・私設消防隊消防施設整備事業 |
|  | ③防犯・交通安全の推進  地域や警察との連携により防犯および交通安全の意識啓発を図るとともに、防犯パトロール隊や交通安全ボランティア等による子どもや高齢者の見守り活動を実施するなど、防犯・交通安全の推進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 防犯カメラ設置数 | 15台 | 31台 |   ■主な事業  　　・緊急地域防犯設備整備モデル事業  ・ＬＥＤ街路灯等導入促進事業 |
| (2)生涯現役のまちづくり | ①健康づくりの推進  各種検診や特定健康診査の受診勧奨や健康づくり活動に対する支援および情報提供の推進、心の健康づくりの推進等、市民が主体的な健康づくり活動に取り組めるよう支援します。  　■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 特定健康診査受診率  （国保加入者） | 53％(H25) | 65％ |   ■主な事業  ・特定健康診査等事業　　　　・食生活改善推進事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (生涯現役のまちづくり) | ②介護予防の推進  生活習慣病予防や運動器疾患の予防に向けて、地域の身近な介護予防拠点を整備するなど、介護予防を推進するとともに、認知症の早期発見、早期支援による認知症予防の推進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 介護予防拠点整備数 | ２か所 | 5か所 | | 住民主体の支援団体数 | 18団体／年(H25) | 30団体／年 |   ■主な事業  　　・介護予防拠点整備事業  　　・おやべ介護予防・生活支援サービス事業（H28以降） |
|  | ③高齢者の生きがいづくり  　　高齢者の学習・文化活動やボランティア活動、交流活動を促進するとともに、高齢者の経験や技能を活かしてシルバー人材センター活動の促進を図るなど、高齢者が日常生活の中で生きがいを持てる環境づくりを目指します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 公衆浴場利用券利用率 | 42.9％ | 50％ | | 寿永荘利用券利用率 | 24.4％ | 28％ |   ■主な事業  　　・小矢部市高齢者世帯支援事業  　　・小矢部市公衆浴場等利用促進事業  小矢部市公衆浴場等利用促進事業  　　　　小矢部市老人福祉センター寿永荘利用補助事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (生涯現役のまちづくり)  ※地域包括ケアシステム：2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制のこと。 | ④地域包括ケアシステム※の構築  　　高齢者や障がいを持つ人が地域でいきいきと暮らせるよう、地域包括支援センターによる相談支援体制の構築を図るとともに、保健・医療・福祉等の関係機関と地域が連携した活動の強化を図ります。  　■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 在宅医療・介護連携支援  拠点設置数 | ― | 1か所 |   ■主な事業  ・地域密着型サービス拠点施設整備事業  ・在宅医療・介護連携支援拠点設置事業（H28以降） |
| (3)利便性の高いまちづくり  ※買物弱者：流通機能や交通網の弱体化とともに食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々のこと。 | ①交通の利便性向上  市営バス（メルバス）やデマンド型乗合タクシー等、きめ細やかな市営バス運行体制の充実を図るとともに、あいの風とやま鉄道との二次交通としてのアクセス向上や利用促進に努めるなど、交通の利便性向上を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | メルバス+乗合タクシー  １日あたりの利用人数 | 125人／日（年平均） | 127人／日（年平均） |   ■主な事業  　　・市営バス運行事業 |
| ②買物弱者※支援  一人暮らし高齢者や中山間地住民等に対して、移動販売や御用聞きを行うなど、買物弱者に対する支援を行います。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 移動販売・御用聞き  利用者数（延べ） | ― | 1,000人／年 |   ■主な事業  　　・買い物弱者調査・支援事業（H26.3月補正） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (4)住民主体のまちづくり | ①地域コミュニティ活動への支援  　　地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るため、コミュニティ活動に必要な設備等の整備および集会施設（コミュニティセンター・自治会集会所等）の建設整備に対する支援を行うなど、地域コミュニティ活動の活性化に向けた支援を行います。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | コミュニティ助成件数 | ３件／年 | 3件／年 |   ■主な事業  　・コミュニティ助成事業 |
|  | ②協働のまちづくり事業の推進  　　個人市民税の1％に相当する額を財源とし、「地域の活性化や特色あるまちづくりの推進を目的として、市民自らが考え、みんなで一緒に行動する事業」に補助金を交付するなど、地域の元気づくりを支援します。また、次世代を担う市民と市職員による新しいまちづくりの方策等に関する協働研究を支援します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 1％事業参加者数  （延べ） | 36,558人／年 | 39,000人／年 |   ■主な事業  　・おやべ型１％まちづくり事業  ・まちづくり研究会事業 |
| (5)住み続けたい  まちづくり | ①地域の伝統・文化の振興  　 曳山（歌舞伎山）、獅子舞、市指定無形文化財及び民俗文化財の保存継承に向けた支援を行うなど、地域の伝統文化・伝統芸能の保護と活性化を図り、地域の誇りと愛着を醸成します。芸術文化施設の充実や文化活動の促進、人材育成を図るなど、文化の振興を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | アートハウスおやべ  利用者数（延べ） | ― | 40,000人／年 |   ■主な事業  　・小矢部市子ども伝統文化祭実行事業  　・大谷博物館管理事業  　・芸術少年団活動事業 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (住み続けたいまちづくり) | ②小矢部三大祭等への支援  小矢部三大祭である「石動曳山祭」、「小矢部の獅子舞祭」、「津沢夜高あんどん祭」等への支援を行い、その活性化を図るなど、地域活性化や郷土愛の醸成につなげます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 三大祭保存団体数 | 116団体 | 現状維持 |   ■主な事業  　・おやべ祭り等補助事業  　・三大祭保存伝承促進事業 |
| ※オリンピアン：オリンピック競技大会における日本代表選手。オリンピック出場経験者 | ③生涯スポーツの推進  スポーツ施設の充実や指導体制の充実を図り、子どもが色々なスポーツを楽しめる環境を整備する等、小矢部市生涯スポーツプランの推進を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | スポーツ施設利用人数 | 193,564人／年 | 240,000人／年 | | オリンピアン※の数 | ４人 | 6人 |   ■主な事業  ・全国的スポーツ大会及びスポーツイベント開催  ・東京オリンピックプロジェクトinおやべ事業  ・ホッケークラブチーム育成支援事業 |
| (6)地域の支え合い体制の  整備 | ①中山間地域等における「小さな拠点」の形成  中山間地域等において、生活・福祉サービスを一定のエリア内に集め、各町内組織、或いは周辺集落を結ぶ「小さな拠点」を形成し、持続可能な地域づくりを推進します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 「小さな拠点」箇所数 | ― | 3か所 |   ■主な事業  　・「小さな拠点」整備促進（H27.6月補正） |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (地域の支えあい体制の整備) | ②地域ケアネット活動の推進  子育てに困っている人や一人暮らし高齢者等、地域で様々な福祉課題を持つ方に対して、地域の人や機関等が一体で見守りや話し相手となって課題解決を図っていくなど、地域の支え合い体制の整備を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | ケアネット活動延べ日数 | 10,671日／年 | 12,200日／年 |   ■主な事業  　　・地域総合福祉推進事業 |
| (7)地域連携の推進 | ①連携中枢都市圏構想の推進  高次の都市機能の集積・強化や生活関連機能サービスの向上を図るため、周辺市との連携による多極ネットワーク型の連携中枢都市圏の形成・参加を目指します。  　■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 連携中枢都市圏構成市間の新規連携事業数 | ― | 2事業(累計) |   ■主な事業  　　・県西部６市連携中枢都市圏構想推進事業（H28以降） |
| ②県西部６市環境活性化モデル地域構想の推進  森林保全と富山湾の藻場回復の循環構築を図るため、県西部６市と連携し、環境活性化モデル地域構想を推進し、二酸化炭素排出量の少ない低炭素社会の実現や、ごみの再資源化等を図る循環型社会を目指します。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | 住宅用太陽光発電  システム設置数 | 34件／年 | 39件／年 |   ■主な事業  　　・地球環境保全対策事業費 |

|  |  |
| --- | --- |
| 主要施策 | 施策内容・重要業績評価指標（KPI）・主な事業 |
| (8)適正な行財政運営の  推進  ※プライマリーバランス：市債発行分を除いた歳入額(税収や補助金等)と市債の返済費や元利払費以外の歳出との収支のこと。 | ①行財政改革の推進  「小矢部市新行財政改革大綱」により、効率的かつ効果的な行財政運営を推進するとともに、市民サービスの質的向上を図ります。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値（H26） | 目標値（H31） | | プライマリーバランス※ | ▲4.44億円 | 黒字化 |   ■主な事業  　　・行財政改革の推進 |
|  | ②公共施設の適切な運営・管理  「小矢部市公共施設白書」の公表を行うとともに、「小矢部市公共施設等総合管理計画」の策定・推進を図り、公共施設の長寿命化や改修・改築および更新、機能の見直しなど、適正な維持管理に努めます。  ■重要業績評価指標（KPI）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 指標名 | 現状値  （H26） | 目標値  （H31） | | 人口１人あたり  公共施設延床面積 | 5.09㎡（H25） | 引き下げる |   ■主な事業  　　・公共施設等総合管理計画策定事業（H28以降） |